

別紙4 保守仕様

自治体名	大河原町
------	------

- (1) 賃貸借契約期間中、障害発生時に賃貸借機器の保守を行うこと。
- (2) 保守の対象は、賃貸借機器の自然故障（バッテリー膨張含む）とする。原則、センドバック保守とするとするが、回復に長時間を要する場合は、発注者の指示を受けること。
- (3) 保守に要する費用負担は、センドバック保守の送料（往復）を含め、受注者が負担すること。また、梱包資材は受注者が提供すること。
 なお、タブレット端末の修理・交換に係る初期設定については、業務の対象外とする。
- (4) 賃貸借機器の故障が生じた場合は、学習者用又は指導者用機器の運用に支障がない範囲で、発注者が予備機として運用している賃貸借機器を学習者用又は指導者用機器として使用する。よって、保守対応は故障の都度ではなく、年1回等、発注者から一定数まとめて依頼するものとする。
- (5) 賃貸借機器について障害が発生した場合の連絡窓口は1か所であること。
- (6) 保守対応は、平日午前9時から午後5時までとすること。
- (7) 賃貸借契約期間中の保守部品の供給及び調達を保証すること。
- (8) 障害時保守における作業が完了した場合は、その都度、発注者に完了報告を行うこと。
- (9) 機器の操作や設定等について、学校担当者から照会があった場合、対応することとするが、照会内容について疑義が生じた場合は、必要に応じて発注者に確認すること。
- (10) 賃貸借契約期間満了後の賃貸借機器返却に際して、故障機器を未修理で返却又は紛失等により一部未返却が生じた場合でも、発注者に損害金等の費用を請求しないこと。
 （発注者が令和2年度に調達し令和3年度から使用している学習者用コンピュータ及び指導者用コンピュータ2,174台について、令和3年4月1日から令和7年1月31日における端末本体の故障は41件、紛失は1件である。）

別紙4 保守仕様

自治体名	松島町
------	-----

- (1) 賃貸借契約期間中、障害発生時に賃貸借機器の保守を行うこと。
- (2) 発注者の故意又は重大な過失によるものを除き、全て保守の対象とする。原則、センドバック保守とするとするが、回復に長時間を要する場合は、発注者の指示を受けること。
- (3) 保守に要する費用負担は、センドバック保守の送料（往復）を含め、受注者が負担すること。また、梱包資材は受注者が提供すること。
なお、タブレット端末の修理・交換に係る初期設定については、業務の対象外とする。
- (4) 賃貸借機器の故障が生じた場合は、学習者用又は指導者用機器の運用に支障がない範囲で、発注者が予備機として運用している賃貸借機器を学習者用又は指導者用機器として使用する。よって、保守対応は故障の都度ではなく、発注者から一定数まとめて依頼するものとする。
- (5) 賃貸借機器について障害が発生した場合の連絡窓口は1か所であること。
- (6) 保守対応は、平日午前9時から午後5時までとすること。
- (7) 賃貸借契約期間中の保守部品の供給及び調達を保証すること。
- (8) 障害時保守における作業が完了した場合は、その都度、発注者に完了報告を行うこと。
- (9) 機器の操作や設定等について、学校担当者から照会があった場合、対応することとするが、照会内容について疑義が生じた場合は、必要に応じて発注者に確認すること。